令和6年度 第1回 佐鳴台中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月14日（金）
校内授業参観（14時30分から15時00分）
学校運営協議会（15時00分から16時30分）
- 2 開催場所 佐鳴台中学校 会議室
- 3 出席委員 栗田 高典 橋本 博行 中条 操 嶋津 歌絵
大屋 久美子 高御堂 仁美 中野 昭良（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 大塚 幸作 尾上 定
- 5 オブザーバー 武田 貴久子（佐鳴台協働センター所長）
- 6 学 校 榊原 秀洋（校長） 門名 由佳（教頭）
坪井 秀臣（教務） 池野 誠（生徒指導主事）
鈴木一貴（二年主任） 城本 絵美（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議記録作成者 CSディレクター 城本 絵美
- 10 教育委員会から
牧野指導主事から資料に基づき、コミュニティスクールと学校運営協議会規則について説明があった。
- 11 議長の選出
司会の教務から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、橋本委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議事項
 - (1) 学校運営の基本方針について
 - (2) 学校の様子といじめ防止基本方針について
 - (3) 総合的な学習の時間と地域の連携（職場体験学習）
 - (4) 夢育やらまいか事業 CS加算分に対する意見書について
- 13 会議記録
司会の教務から、委員総数9人のうち7名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
 - (1) 学校運営の基本方針について
校長から資料に基づき、学校運営基本方針について説明があった。
本校の特徴は外国につながる生徒が多くおり、多文化共生の学校である。また地域に愛される佐鳴湖がある。教員には、情熱をもち、高い専門性を身につけ、学び続けるように伝えるとともに、生徒理解・生徒指導を行っていくように指導していく。これらを実現していくためには佐鳴台の歴史・思いを受け、しっかりと分析を行い、何が必要で、何が必要でないのか知恵を絞り、地域の方のご協力のもと共に学校を作っていく。（校長）
委員からは以下の発言があった。
・大変わかりやすく説明していただき、この学校を良くしていきたいということがよく分かった。これからも頑張ってもらいたい。（中条委員）
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。
 - (2) 学校の様子といじめ防止等基本方針について
昨年同様、タブレットを活用した授業を推進している。校内まなびの教室でもタブレットを活用し、授業に参加している。リモート授業からクラスに行けるようになってきている生徒もいる。（教務）
生徒指導から資料に基づき、いじめ防止のための基本的な方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。
・学期に2回のアンケート以外の対応はどのように行っているのか。（嶋津委員）
→毎日の日記などで悩み相談できるような環境作りをしている。（生徒指導）

- ・スマホの使い方の指導はどのようにされているのか。（中条委員）
- 7月にSNS講話を計画している。またスマホの使用で問題のあった場合には、保護者に説明を行い、直接会って共通理解を図っている。（生徒指導）
- ・いじめ認知の問題は、当事者だけの問題でなく保護者全体に周知してもいいのかなと思う。難しい面もあるかもしれないが全体的な注意喚起として伝えるのも大事ではないか。（大屋委員）
- 市で共通した規則があるのでそれに則って行っていく。（校長）
- ・クラスのグループラインに入る入らないなど、子供たちは知らないうちに加害者になったりする場合もあるので難しいと感じる。（高御堂委員）
- 使い方を教えていくことが一番の対処法。教員が認知した問題については、その都度、会議を行い対応している。（校長）

(3) 総合的な学習の時間と地域の連携（職場体験学習）

2年生学年主任から資料に基づき、職場体験学習について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・どのような職場で体験を考えているのか情報提供をお願いしたい。（栗田会長）
- ・子供に職場体験したいところの希望をきいてみてはどうか。（高御堂委員）
- 今までの経験から生徒たちは興味のない体験場所でも、良い体験できたと感想をもつことが多かったため、今回は教員がピックアップし、徒歩で行ける範囲内で進めていこうと考えている。（2年生学年主任）
- ・協働センターでも協力できることがあれば受け入れは可能。（武田オブザーバー）

(4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

教頭から、資料に基づき、CS加算分の予算運用について詳細な説明があった。全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ・外国につながる生徒の指導について
- 昨年度課題であった外国人支援員の確保については3名の新しい支援員が配属されたことで解消された。（教務）
- ・夏休みの補充学習について
- 放課後学習、夏休みの補充学習共に継続して行っていく。（教務）

連絡事項

- (1) 休日の部活動地域移行について
令和8年度、秋以降から休日の活動は地域に移行するよう動いている。大会への参加等についてはまだ検討中である。（校長）
- (2) 体操服について
令和7年度から新しくするよう進めている。ご意見あればお願いします。（生徒指導）
- (3) 今後の予定確認
次回会議は令和6年10月11日（金）午後2時00分から佐鳴台中学校会議室で開催する。（教務）
- (4) さくら連絡網の登録のお願い（教務）